



試料作製 “ワンポイントアドバイス” 真空含浸装置 カスト N1000

真空含浸装置についてのご質問をいただきましたので、今回は使用方法をご案内します。
真空含浸装置は試料の隙間や気泡の入っている部分に樹脂を浸透させる装置です。

- ① 試料と混合した樹脂の入ったカップをベルジャー内にセットします。
- ② 真空含浸装置のスイッチを入れて真空中で樹脂を入れます。解析面の隙間に入り込むようにゆっくりと樹脂を注入します。
- ③ 真空状態から常圧に戻したときに樹脂が浸透します。
- ④ 試料をベルジャーから取り出し、常温・常圧の状態ですべてを硬化させます。



図 A: 真空含浸装置 カスト N1000

図 B: 真空-25in.Hg に安定させる

図 C: 樹脂注入

詳細なステップ毎の使用方法を動画で説明しています。
ビューラーホームページをご覧ください。

<http://www.buehler.com/Japan/buehler-news-room.php>

ビューラーアプリケーションラボでは試料作製に関する
ご相談を受け付けております。

info.japan@buehler.com ホームページで送信ください。

*トピックは予告なく変更となることがございます。